

質問	ウラリット-U 配合散の簡易懸濁法での投与は可能ですか？
回答	<p>ウラリット-U 配合散は 55℃の温湯で 10 分以内に崩壊し 8Fr.チューブを通過しています。</p> <p>また、懸濁液は 24 時間後において含量の低下はありませんでした（24 時間後の K, Na の残存率：100%）。</p> <p>詳しくは添付のデータをご覧ください。</p> <p>この資料は本剤の懸濁状態及びチューブ通過性を検討した資料であり、臨床で経管投与した場合の有効性・安全性の評価は行っておりません。</p> <p>本剤をご使用の際には添付文書をご確認の上、医療従事者の裁量と判断のもとに行っていただきますようお願い致します。</p>
参考資料	【ウラリット-U 配合散】簡易懸濁試験に関する資料